広報
さめがわ

昭和63年
12月号
No. 420
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所



唄や踊りで楽しいひととき

文化祭恒例の「お母さんお嫁さんに感謝する会」は、今年も大勢のお母さん、お嫁さんが出席して11月20日、山村開発センターで行われました。

まず8名の健康優良児とお母さんが表彰されたあと、「わたしのお母さん」と題して西野小3年の佐藤まゆみさんと「お母さんありがとう」と題して鮫川中2年の蛭田みゆきさんがそれぞれ感謝の作文を朗読しました。最後にお母さんお嫁さんを代表して赤坂西野の田子陽子さんが謝辞を述べました。

アトラクションでは、鮫川村ふる里文化芸能クラブの皆さんによる民謡や詩吟、踊り、コーラスなどが披露され、この日は仕事や家事のことを忘れ、楽しいひとときを過ごしました。

12月1日～31日　歳末たすけあい運動
12月10日～1月9日　年末年始交通事故防止県民総ぐるみ運動
12　月　16　日　県政巡回相談(山村開発センター)

今月の人口
(12月1日現在)

		前月比
人　口	5,453	(−10)
男	2,688	(−8)
女	2,765	(−2)
世帯数	1,136	(0)

冷害対策

救農土木事業始まる

今年は、異常気象により水稲、農作物に甚大な被害を受けましたが、これら冷害対策事業の一つとして、救農土木事業が始まりました。

村では、救農土木事業などに就労希望のあった一三三人（男三七人・女九六人）を一二班に分け、それぞれ最寄りの現場で就労してもらうことにしました。

このうち、村有林の保育事業については、伊柳沢国有林（消防林・高校林）六・〇四ヘクタールの除伐作業が十二月一日に開始されました。

青生野国有林（林業後継者の森・明治一〇〇年記念林）九・四一ヘクタールについても十二月中旬には作業が始まります。

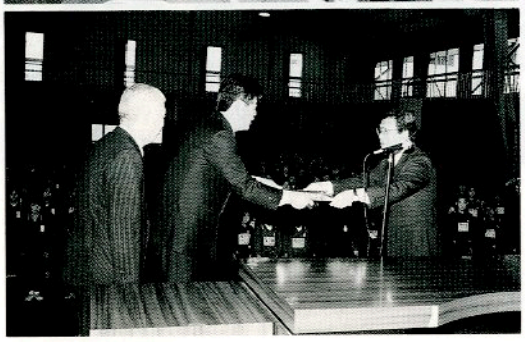
この保育事業には、二か所で七三人（七班）が就労し、延一、一七五人が作業に従事する予定です。そのほかの人についても、村が発注した土木工事に従事してもらっています。

救農土木事業全体では、三月までに延一一、八二〇人の就労を予定しています。



▲伊柳沢国有林で、除伐作業を行う就労者





鮫川小

ソニー教育資金優秀校に

資金とビデオ贈呈される

このたび、鮫川小学校では、昭和六十三年度ソニー教育資金の優秀校に選ばれ十一月二十二日鮫小屋体で全校生徒が出席して贈呈式が行われました。

始めに小峰校長があいさつをした後、矢部教育長、芳賀PTA会長、ソニー郡山金沢支社長からそれぞれ、お祝いのことばがありました。

次に、ソニー郡山支社長からPTA会長と校長に賞状と目録が贈呈されました。

このあと、鈴木和愛（かずえ）さん（六年）が、郡山支社長から受賞記念のコンパス（方位磁石）を受け取りました。続いて全校生徒を代表して森隆之君（六年）が、これからもこれらの機器を利用して一生懸命勉強しますとお礼の言葉を述べました。

鮫川小学校では、理科でオオムラサキの飼育観察に取り組んだことなどが評価され、今回の受賞となったものです。

贈呈式では、教育資金七〇万円とカラーテレビ、8ミリビデオ機器一式が贈られました。

共同募金 歳末たすけあい募金

ご協力ありがとうございました。

昭和六十三年度の共同募金と歳末たすけあい募金は、十一月に実施しましたが、その結果、皆さんの温かなご協力をいただきまして目標を上回ることができました。

心から厚くお礼申し上げます。募金額並びに使途は次のとおりです。

▼募金総額　一、〇〇二、〇二三円

◎共同募金（県募金会へ）

六〇五、〇二三円

◎堀川愛生園後援会募金

堀川愛生園へ）

五八、〇〇〇円

◎歳末たすけあい募金

三三九、〇〇〇円

歳末たすけあい募金は、村内の要保護世帯、病院等各種施設入所者に越年見舞金として今月中旬頃差上げることにしました。

第41回 鮫川村文化祭



▲作文を朗読する佐藤まゆみさん



▲鮫川村ふる里文化芸能クラブの
皆さんによるコーラス

お母さんお嫁さんに感謝する会





▲健康優良児表彰



表彰された健康優良児とお母さん

幼稚園、小・中学校学習発表会



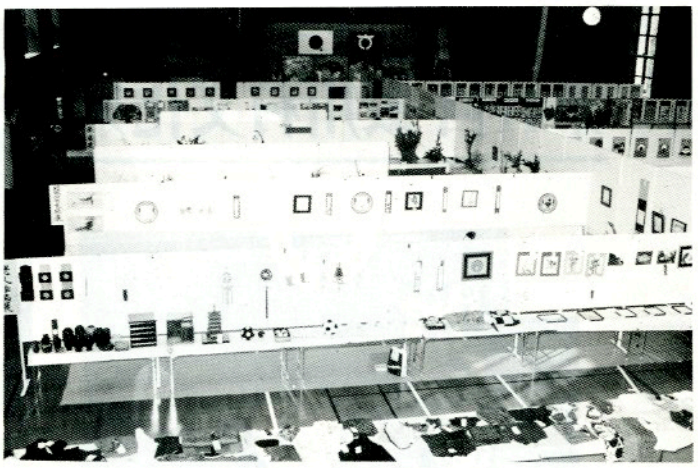


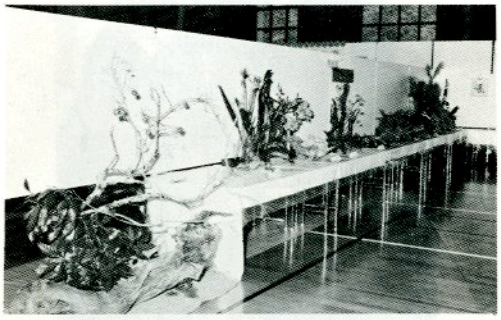
幼稚園、小・中学校の学習発表会が、21日山村開発センターで行われ、劇、合唱、合奏、リズムなどが発表されました。最後に、全員で「もみじ」を斉唱して閉会となりました。

作品展示会場

第四一回鮫川村文化祭の各展示は、十一月十九日から二十一日までの三日間、農業者トレーニングセンターを会場にして行われました。

出品点数も年々増え、みごとな作品が会場いっぱいに展示され、参観者の目を楽しませました。

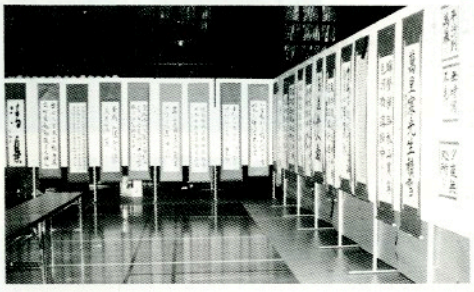




◀華道展



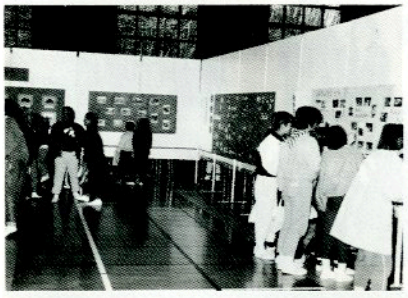
▶老人作品展



▶書道展



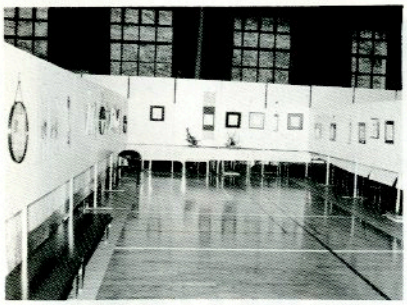
▶村政写真展



◀幼児保育写真展



▲農業・生活改良推進員コーナー



◀短歌色紙展



▲児童生徒作品展



鮫川ライオンズクラブによるチャリティバザーが行われ、売上金は村社会福祉協議会に寄附されました。



臨時保育所「こどもの広場」(鮫川幼稚園)



ふれあい広場（商工会館前）



毎年好評の老人作品展、出品物の競売

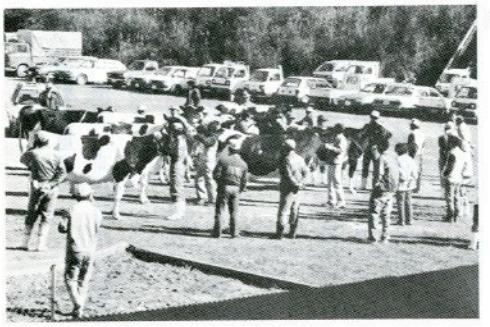
第41回鮫川村畜産共進会

優良牛64頭が競う

第四一回鮫川村畜産共進会が十一月八日に村民運動場で開催され、各大字の予選会で選抜された肉用牛三六頭と乳用牛二八頭合わせて六四頭が出陳され、体形、資質を競いました。

白河家畜保健衛生所長ら八人が審査員となり、一次審査（個体審査）、二次審査（比較審査）の結果、肉用牛の部で鈴木武さん（大石草）、乳用牛の部で関根英也さん（土路部）所有の牛がグランドチャンピオンに選ばれました。





菊花展

菊花愛好会主催による菊花展が、十一月四日から七日までの四日間、山村開発センターで開かれました。

会場には、丹精込めて育ててきた菊一二〇点が展示され見事な出来栄えに参観者の目を楽しませました。

入賞者は次のとおりです。

（敬称略）

▼村長賞＝岡部晃、舟木タマノ▼議長賞・公民館長賞・農協組合長賞・文連会長賞＝舟木タマノ▼教育長賞＝岡部伝▼商工会長賞・菊花愛好会長賞＝円井稲子



▶会場一面に菊の薫りが漂う

年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動

12月10日～1月9日



十二月十日から一月九日までの一か月間「年末年始交通事故防止県民総ぐるみ運動」が行われます。

この運動は、年末年始の交通の混雑や積雪・凍結など道路交通環境の悪化による交通事故の防止を図るとともに、この時期には飲酒の機会が多くなることから、飲酒運転の絶滅を期すため、交通ルールの徹底及び交通マナーの普及と実践を図ることを目的としています。

一、スローガン

「安全は　ゆっくり　ゆったり　ゆとり　ゆずりあい」

――危険がいっぱい！

危険がいっぱい！冬の道

冬の道――

二、運動の重点

㈠、積雪・凍結時の交通事故防止

㈡、飲酒運転の追放

㈢、高齢者と子供の交通事故防止

三、期間

昭和六十三年十二月十日（土）から昭和六十四年一月九日（月）までの一か月間

ゴミの不法投棄はやめましょう

近年、道路交通網の整備等に伴い、村内でも、廃棄物が不法に投棄される範囲が広がっています。また、不法な埋め立ても予想されますので、次のことに注意してください。

- 廃棄物を保管したり埋立てする場合は、法令に定める基準に従って行わなければなりません。
- 山林や原野など廃棄物が捨てられやすい土地の所有者は、その土地を清潔に保つ義務があります。
- 土地所有者の了解があっても、廃棄物をみだりに捨てたり、埋めたりすることは違法となり、それを行った者は処罰されることがあります。

廃棄物を積んだ不審な車や投棄現場を発見したら、役場（住民課）へ連絡してください。

街路灯を100基設置

―鮫川村商工会―

鮫川村商工会では、このたび、街路灯建設委員会を組織し、村の助成を受けて村内に街路灯を一〇〇基設置しました。

これは、明るい村づくりを推進するため、防犯灯を兼ねた街路灯を設置することにより青少年の健全育成、交通安全、地域の美化並びに地域商工業の振興発展を図ろうとするものです。



街路灯は二灯式で、デザインもとてもすばらしく、地域住民から喜ばれています。

県政巡回相談

福島県では、県民生活の安定及び福祉の向上を図るため、毎年県政巡回相談事業を実施しています。

このたび、次により昭和六十三年度の県政相談を開催しますので、気軽にご相談ください。

とき　12月16日

ところ　山村開発センター

日時　十二月十六日（金）午前一〇時～午後三時

場所　山村開発センター農林経営研修室

相談員　福島県県南行政事務所　高橋時衛相談員
県民生活課職員

鮫高だより

読書感想文発表会開かれる

去る十一月九日、昨年に引き続き鮫川ライオンズクラブの後援を得て、読書感想文発表会が鮫川分校視聴覚室で盛大に催されました。

この会は、国語教育の一環として、担当の金沢良二教諭の指導のもとに毎年行われているもので、我妻隆鮫川ライオンズクラブ会長をはじめ、我妻久雄同幹事、大池基義同初代会長、佐藤正校長、板垣長分校長、遠藤一孝教諭、生徒代表一名の計七名で審査が行われました。



発表したのは、各学年の代表五名の計一五名で、各自それぞれの個性を生かした読後感で、その内容は愛の性、心に残る言葉、人生について、部落差別問題等、多岐にわたり、その発表態度もなかなか堂に入ったものでした。

聞く生徒たちも、各自採点をしながら聞き入り感銘を受けた様子でした。

鮫川ライオンズクラブとの交流は、昨年から芋煮会でも「青空のつどい」として行われ、青少年の健全育成にご尽力いただいております。

なお、五人が優秀賞に選ばれ、鮫川LCから盾を受けました。優秀賞は次の通りです。

▼三年＝下重智子、藤田百合子、酒井安代▼二年＝岡部恵美子▼一年＝根津桜

昔の伝統行事

"むじなっぱたき"復活

富田　館山会

富田・彦次郎部落の館山会で、三〇年ぐらい前まで行われていた"むじなっぱたき"の行事が復活、十一月十七日（旧十月九日）の夜、来年の豊作に祈りをこめて盛会に行われました。

館山会は、地域の親ぼく団体として、昭和四十八年に発足し、親善に努めていますが、昔の民俗伝統行事を子供たちに引き継ごうと、役員の青戸代吉さん宅に一〇名の会員が集まり、藁をもじり、中にミョウガの枯れたのを入れ、たたき棒を作り、「むじなっぱたきのお祝いで、貧乏神たたき出せ、福の神持ち込め」と一二名の子供たちが、元気よく部落の厄払いを行いました。

終ったあと、役員さんの家で、とん汁や甘酒をごちそうになり、ご祝儀（小使い）をもらい、子供たちは大喜びでした。



老人介護ご苦労さんと感謝状贈られる

長い間寝たきり老人の介護に努めた労苦に対し、吉田ハツエさん（上野町）と、岡部ヒロさん（大竹）、前田フサさん（官代）に、日本赤十字社県支部長から感謝状が贈られ、このたび、芳賀村長から伝達されました。



自衛隊募集相談員に松本　栄一さん

このたび、自衛隊募集相談員に松本栄一さんが選ばれ、自衛隊福島地方連絡部から委嘱状が交付されました。

相談員の仕事は、自衛隊に入隊したい方の相談にのったり、情報を提供したりする業務などです。

任期は昭和六十三年十二月一日から昭和六十五年十一月三十日までの二年間です。

●相談員　松本　栄一
●住　所　大字富田字二反田
●電話番号　四九－三二五一

自衛官募集！
お問合せは役場総務課へ

お元気ですか

保健婦です

妊婦さん

母健康手帳の交付手続きはお済みですか？

母子健康手帳は、お母さんとお子さんの健康を守るために、健康記録としてつくられたものです。

対象

医師又は助産婦の診察により、妊娠していることの明らかな人で、鮫川村に住所のある人。（入籍前でも交付が受けられます）妊娠とわかった時点で早目に交付を受けましょう。

手続

保健指導がありますので、妊婦本人が手続きしてください。「妊娠届出書」に記入し、提出すると手帳が交付されます。

医師や助産婦の証明書は必要ありませんが、印鑑を持参してください。

交付日

第2・第4週の土曜日（都合により日曜日にも交付することがあります。健康カレンダーで確認してお出かけください。）

なお、交付日以外でも交付できますので事前に電話でお問合せください。

（電話番号　四九－三一一一　住民課保健係まで）

最近、妊娠していても、母子健康手帳の交付を受けていない方が目立っています。妊娠に気づきながら病院で診察を受けない方などもいます。

手帳は妊娠二か月から三か月に受けるのが望ましく、定期健診を受け、早期に母体の健康管理をしましょう。



妊娠中毒症

早期発見とバランスのとれた食事を

三つの症状に気をつけましょう

28週（8か月）以降の妊娠後期に起こりやすい病気です。妊娠中毒症になると早産になりやすく、また、未熟児の出生率が高くなります。

特に症状がすすむと難産になったり、出生後も母体に高血圧やたんぱく尿を残す場合もみられます。

しかし、軽いうちに治すとお母さんや赤ちゃんにはほとんど影響がありません。

むくみ

一晩寝ても足や手の甲、顔のむくみが消えない場合や体重が一週間五〇〇g以上増えた場合は要注意です。

たんぱく尿

食物からとったたんぱく質は、栄養となった後は、大部分が尿中に排出されます。この量が異常に増えた時は要注意。

高血圧

最高値一四〇mmHg以上、最低値九〇mmHg以上は要注意です。

三つのうちいずれかの症状があらわれたらすぐに医師の診断を受けましょう。

また、バランスのとれた食事（特に高たんぱく、低エネルギー）、水分、塩分はひかえめにし、休養（安静）を十分とりましょう。

12月の健康カレンダー

	種別	実施日	対象者	受付時間	会場
乳幼児健康診査	4か月児健診	63年12月14日(水)	63年8月生れ	午後1:00～2:00	棚倉保健所
	3歳児健診	63年12月20日(火)	60年10月・11月生れ	午後1:00～1:20	山村開発センター
	1歳6か月児健診	63年12月20日(火)	62年4月・5月生れ	午後1:30～1:40	〃
予防接種	はしか（麻しん）	随時（電話で申し込み）	1歳6か月～6歳未満ではしかにかかっていない者	午前8:30～午後5:00	村診療所
	おたふくかぜ		1歳6か月以上でおたふくかぜにかかっていない者		
妊婦	母子健康手帳交付日	63年12月10日(土) 63年12月24日(土)	妊娠していることが明らかな妊婦本人（印鑑を持参してください）	午前8:30～正午	役場内

※健診・予防接種には忘れずに健康手帳を持参しましょう。

献血のご協力に感謝します

十一月二十日の文化祭に、二会場で献血を行いましたが、三五人（うち五人が四〇〇㎖献血）の方々からご協力をいただき、ありがとうございました。

献血に協力された方々は、次のとおりです。（敬称略）

◎は四〇〇㎖献血者です。

▽斉藤美津子▽藤田俊次▽青戸良一▽鈴木シゲ子▽水野静子▽北條洋子▽岡部清代枝▽鈴木孝宏▽山形良子▽田子久子▽小森多恵子▽小松豊子▽大竹久美子▽◎石井功一▽平久江隆子▽円井チヨノ▽湯坐きみ子▽◎緑川好之▽松本光子▽目黒和子▽◎河野弘美▽大平啓子▽◎大森治男▽高坂まき▽金沢一四▽高木頼子▽藤田芳明▽関根武捷▽本郷キミエ▽国井美枝▽◎児玉千雪▽本郷公市▽我妻久美子▽本郷まさ子▽増谷隆夫

広報についての ご意見をお寄せください

「広報さめがわ」編集部では、皆さんの身のまわりの明るい話題や出来事、ご意見感想などをお待ちしています。奮って投稿してください。

（総務課　総務係）



文芸

俳句

大塩　矢吹　呂孝

背を丸め落葉を拾う神無月
彦次郎　松本マツヨ

休耕田不作もしらず草伸びる
上　高坂　蚯切

霜柱踏みだして牛売らる
道少田　山本五十鈴

丈低き稲架け並べ峡くもる
反　田　小山田清哲

冷害に籾なき稲を扱き進む
宿ノ入　田中　義明

秋陽うけ子等のはしゃぎも甲高し
道少田　山本　朗史

波も風も白鳥ごのみ湖荒るる
鮫川高校　沢　草二

秋逝くとにわかに山の翻る
横　座　矢吹　茂

穂揃いの花の盛りを青刈りす
新　宿　斉須　信子

ふる里の山の歳月木の葉踏む
彦次郎　青戸　テル

籾摺の袋乏しや夏の冷
押　野　山本　恵子

思いきり短かく活けて鶏頭花

短歌

新　宿　杉山　忠男

老化とは空しきものよ友知人
楽しき旅も忘却の彼方へ

名　下　須藤美代子

「だんらん」とう卓上こんろ
湯気立つるすき焼鍋をかこみてふたり
福　原　蛭田　正

兵たるわれ慰問の手紙いくたびか胸ときめかせ読みしころあり
広　畑　岡部ヒサ子

女ならお針に読み書きそろばんと父に言われしは杳き日のこと
遠ケ竜　中川西好幸

涅槃像思はす様な夕雲が一つ浮んで黄の色に染む
越　虫　星　武

朝の陽の透る廊下に温もりつ連続ドラマの視聴に浸る
青生野　吉成　タカ

絵筆放し受話器あてるや孫の声泊りに来てよと甲高に透る
折　戸　阿久津ミツ

新しさ望む思いで期待する月に一度の社会学級
新　宿　関根　京子

師の君の墓前参りにひとりきて健やかな日々思いうかべる
大石草　鈴木イミ子

「うまいぞう」と誰かが叫ぶ絶叫大会こだましてゆく紅葉の山に
酒　垂　石井　カヤ

稲刈りに先立ちてゆくもたちまちに疲れしわれよ老はかくせず
棚　橋　関根　一好

朝夕の厨に佇てば水の冷え亡き妻亡母を恋うる季となる
滝　平　円井　モト

脱穀の一服と寄る卓上に空籾こぼるるを指なめてとる
遠ケ竜　須藤　幸子

啼く牛にねむれねらしく灯りつけ母は牛舎に起きてゆくらし
関　口　藤田　マサ

幼な孫の笑顔くずさず育てたし歳にまされるやまめ釣り来て
新　宿　長田　正男

大輪に咲きし菊花の匂ひおり入賞の鉢にこもる愛情
本　坂　藤田　初江

亡き祖母の紡ぎて染めし絹糸で織りたる着物は形見となりぬ
宿ノ入　宗田　俊江

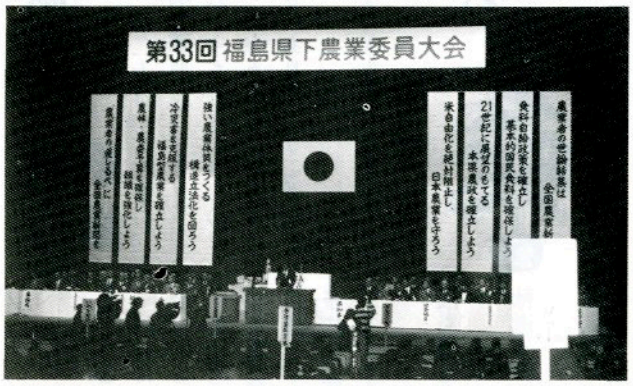
野辺に咲く野菊の花の可憐さをわが身に比べ思いつつ歩む
前　沼　岡部ヨシエ

しんなりと干しし大根今年こそ味良くつけんと友らにきいて
大　塩　鈴木美枝子

メロデーを流して夜長の床につき口づさみいていつしか眠る
巡ケ作　鈴木　米子

落葉焚く少女のまわりくるくると白い小犬がじゃれついている

コメ自由化阻止を決議！



▲盛況に開催された県下農業委員大会

農委だより

冷害対策など要請

第33回県下農業委員大会

コメ自由化を絶対阻止し、日本農業を守ろう―などをスローガンにした第三三回県下農業委員大会が十一月一日、福島市の県文化センターで、県内の農業委員をはじめ、国会議員、県農業会議等関係者二千人が参加して開かれました。

はじめに、鈴木省吾県農業会議会長が主催者を代表して「今年は異常気象による冷害で五十五年に匹敵する被害を受けているばかりか、コメの市場開放について米国から不条理の要求があるなど、農業を取りまく情勢は、今が剣ヶ峰。この難局を乗り越え、生産性の高い農業を確立し、農村の活性化を図るには、二十一世紀を展望した福島型農業を確立するとともに、国民合意に基づく食糧自給政策が必要である。県下一、八五〇人の農業委員が、その先頭に立って運動を展開しよう」とのあいさつがあり、次いで佐藤県知事と地元の吉田福島市長があいさつし、議事に移りました。

議事では、「農業基本政策の抜本的確立について」、「農業構造政策の拡充・強化について」、「異常気象による農作物の災害対策について」など、さらに緊急提案として、コメの市場開放阻止・自由化農産物対策について決議されました。

特に、農業基本政策の確立については、「農産物の生産コスト低減に努力するが、一方で内外価格差の縮少という命題の中で生産者価格を引き下げないよう強く要望すべきである」との意見が出されました。

また、今年は五十五年に匹敵する冷害にみまわれたことから、被害農家の窮状を救うことが地域経済、ひいては県全体の活性化につながる。加えて来年度の転作面積の特例緩和措置を実現させることで営農の安定をはかろうと力強い説明がありました。

さらに、ガット新ラウンド（多角的貿易交渉）の中間とりまとめで、日本がコメ市場開放で積極的な対応をするよう求めているのに断固拒否することを求めた提案説明がありました。

なお、この決議事項を、国へ働きかけることを決めて閉会しました。

冷害克服 営農座談会実施

十一月二十八日から十二月五日まで村内各所で冷害克服営農座談会が開催されました。

この座談会は、鮫川村農協が主催し、村農業委員会、農林課、農業改良普及所などの関係機関が参加して、今年度の冷害対策及び来年度の営農などに対する農家の皆さんの意見や希望などを直接うかがうために実施したものです。

農家の皆さんからは、来年度の水田農業確立対策や現在予定している冷害対策などについての意見や質問がありました。

簡易式農業簿記講習会

あなたも参加してみませんか！

農業経営の規模拡大や作目の多様化、資金借入れ額の増加などにより農業簿記が必要となってきました。

これにより自己の農業経営を分析し、経営改善を図るため、初心者を対象とした「簡易式農業簿記」の記帳の仕方等を中心とした方部別講習会を次により開催されますので是非参加してみませんか。

一、開催日時
十二月十四日（水）
午前十時から午後三時

二、開催場所
塙町「農村勤労福祉会館小研修室」

なお、参加される方には、村が一部経費を負担しますので、十二月十二日まで、村農業委員会に申し込んでください。

公民館だより

奉仕活動の理解深める
ふるさと少年教室

ふるさと少年教室第五回講座「手話」教室は、棚倉町の古市富士子先生を招き、十一月二十七日に山村開発センターで、三〇名の児童が参加して行われました。

はじめに、奉仕活動の考え方、実践のしかたなどの講義を行い、続いて手話の講習に入り、指で文字を表現する指文字の指導があり、簡単な単語の表現を勉強し、次に手話の基本表現に入りました。



▲手話を学習する子供たち

子供たち自身の住所・氏名・年齢・家族など自己紹介をする表現方法や、一日の生活を表現する方法など基本的な日常会話、指文字のしりとりゲームや、手話による伝達ゲームを取り入れながら学習し、はじめは身振り手振りも縮みがちでしたが、終るころには自信たっぷり表現できるようになりました。

一日という短時間のため、習った手話も実用にならず、ろうあ者に接する機会もほとんどないため、せっかくの学習も忘れられてしまうでしょうが、一日でも慣れ、親しめたことで、ろうあ者に対する理解が深まり、それ以外の奉仕活動へも抵抗なく自然にとけこめる手助けになればと期待しています。

生方利夫さん全国表彰される
体育指導委員
鷲野谷 重一さん 岡部 照夫さんも県表彰受賞

去る十一月十六日から十八日にかけ、福岡市において全国体育指導委員研究協議会が開催されましたが、その席上生方利夫さんが、地域における社会体育の振興、充実に尽力した功績が認められ全国功労表彰を受賞しました。また、岡部照夫さん、鷲野谷重一さんは、十一月十二日、十三日に喜多方市で開催された、県体育指導委員研究大会の席上で、県功労表彰を受賞しました。



▲全国表彰に輝く生方利夫さん

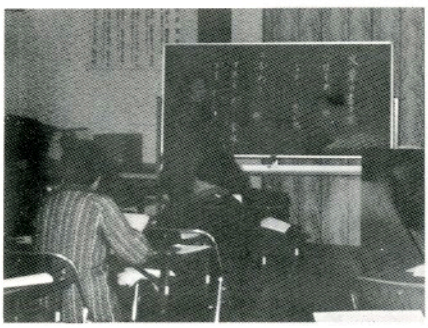
〝里の春〟発刊にむけて
社会学級 第六回講座

社会学級第六回講座「俳句」教室は、十一月十五日から三十日まで六日間にわたって、山本ヤス先生を講師に招いて開かれました。

一年間の学習の成果ともいうべき社会学級文集「里の春」の発刊にむけ、俳句のつくり方、文章の書き方を学習しようと、当初の計画により開かれたもので、原稿用紙の使い方、俳句、随筆を作る場合の構成のしかた、気持の持ち方などの話がありました。

実習として俳句を作ってみましたが、「できない、できない」といいながら各自一句以上は作り、中には、俳句を何首か作ってきて添削を願う学級生もいて、「里の春」への投稿に対してなみなみならぬ意欲をうかがわせました。

趣味の学習では、富田学級で有賀華子先生を招き踊りを青生野学級でカラオケを実施し、楽しい一日を過ごしました。



心あたたまる贈り物

このたび、農業者トレーニングセンターに、高坂エイさんから、雑布二五枚、足ふき用雑布一五枚の寄附がありました。トレーニングセンターの美化、清掃に使わせていただきます。本当にありがとうございました。

なお、受賞記念として、生方さんより村社会福祉協議会に対し、多額の寄附が寄せられました。

村営住宅入居者募集

村では、昭和六十三年度の村営住宅入居者を次により募集しています。

入居者募集住宅
- 第一種村営住宅　一戸
- 第二種村営住宅　一戸

場所
大字赤坂中野字巡ケ作三六一（さぎり荘北側）

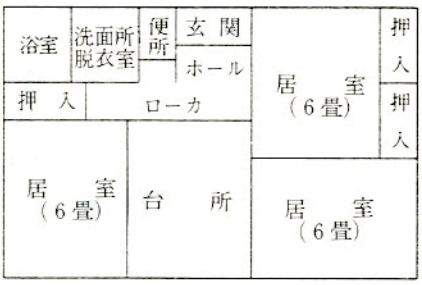
住宅規格
木造平家建　3DK

家賃（月額）
- 第一種　二万五千円
- 第二種　一万八千円

受付期間
十二月七日から十二月二十日まで

入居をするには資格や条件がありますので、詳しくは役場建設課までお問い合わせください。

村営住宅平面図



おめでた

十一月
前田　前田静香　父前田　均
鍬本田　鈴木智宏　父鈴木　一
戸倉　関根亜季子　父関根信一
青生野　長久保幸恵　父長久保誠一

おくやみ

十一月

歳	世帯主
薄ケ久保	高木勝重
79	高木　繁
上耕地	千葉ソヨ
90	千葉好子
中内	中川西嘉廣
95	中川西嘉安
新宿	橋本次男
66	橋本ツマ子
青生野	笹島賢一
17	笹島光儀
落合	水越忠尚
75	水越　一
伏木田	水野サキ
91	水野成男

今月の納付

村県民税第四期
国民年金保険料
納期限　12月24日

心あたたまる寄附

（村社会福祉協議会へ）

○ 字薄ケ久保　高木　繁様
亡父（勝重様）の意志により　三〇、〇〇〇円

○ 字中内　中川西嘉安様
亡父（嘉廣様）の意志により　三〇、〇〇〇円

○ 字新宿　橋本剛男様
亡父（次男様）の意志により　三〇、〇〇〇円

○ 第四一回鮫川村文化祭チャリティーバザー益金　鮫川ライオンズクラブ（会長我妻隆様）より　五〇、〇〇〇円

○ 長年、体育指導委員として活躍された功績により全国表彰を受けたお礼として
鮫川村体育指導委員会長
生方利夫様より　五〇、〇〇〇円

○ 字落合　水越　一様
亡父（忠尚様）の意志により　一〇、〇〇〇円

○ 字大塩　水野成男様
亡母（サキ様）の意志により　五〇、〇〇〇円

心配ごと相談

行政相談
十二月二十日(月)
午前十時 ～ 午後三時
山村開発センター

なお、今月は午後一時から午後三時までは、弁護士が相談を受けますので、ご利用ください。

休日の在宅当番医

（12月）

月日(曜)	当番医院 棚倉町	塙町	石川町
12月11日(日)	阿部	厚生病院	円谷・三瓶
18日(日)	藤田	—	大野眼・中島
25日(日)	勝田	石川	添田
29日(木)	（通常どおり）	（通常どおり）	務川
30日(金)	〃	〃	山本
31日(土)	〃	〃	矢内

ゴミの収集日

収集コース	種別	12月	1月
江竜田～中野町～福原～彦次郎～鍬木田～前沼～広畑～湯ノ田～巡ケ作～役場～保育所コース	可燃物	12.15.19.22.26	5.9.12.19.23.26.30
	不燃物	23	13.27
農協前～農協倉庫～給食センター～道少田～教員住宅～鮫川分校（木曜のみ）～伏木田～大塩	可燃物	12.15.19.22.26	5.9.12.19.23.26.30
	不燃物	23	13.27
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～塚本～折戸～宝木～水口～落合～宮沢コース	可燃物	14.21.28	4.11.18.25
	不燃物	22	12.26
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	可燃物	14.21.28	4.11.18.25
	不燃物	16	20
越虫～青生野～葉貫～戸草～蔵ノ草～湯ノ田～中沢コース	可燃物	14.21.28	4.11.18.25
	不燃物	21	11.25
宮代～楢久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	可燃物	14.21.28	4.11.18.25
	不燃物	23	13.27

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないでください。
※　ゴミは、収集日の朝に出してください。

塙セリ市場だより

（63・11・20）

性別	頭数	取引価格 最高	最底	平均	平均体重	平均月齢
	頭	千円	千円	千円	kg	月
雌	130	583	120	349	248	9.9
去勢	114	554	250	418	286	9.7
計	244			382		